

わたしたちは豊かな生活と教育を応援します 毎月第2火曜日発行 彩南よみたんは県公立の小学校158・中学校79・高等学校24校にも毎月お届けしています

**祝 彩南よみたん** 2018 11月号 100よみたん

読売新聞

発行/埼玉南部読売会 発行人/関一則 〒330-0061 さいたま市浦和区常盤5-8-41 TEL. 048-824-1567

よみたんは、新聞の教育活用を探究し、かんばる子ども・学校・地域のみなさまを応援します!

11月13日は...「うるしの日」で日本漆工芸協会が1985(昭和60)年に制定。平安時代のこの日に、文徳天皇の第一皇子・惟喬(これたか)親王が京都・嵐山の法輪寺に参籠し、漆の製法を菩薩より伝授した伝説からといふ。

**よみたん100号記念の日**

**よみたん100号の歩み**

2010年8月創刊の彩南よみたんは11月、創刊100号を迎えました。紙面の募集からキャラクター募集に始まり、現代の取組を紹介する「学校レポート」、学校教育での新聞活用事例を紹介する「新聞活用レポート」など、多彩な特集やコーナーづくりに編集委員が力を合わせて取り組んでまいりました。今号では、100号記念の日としてその歩みを振り返ります。今後とも、「新聞を読んで探究」をテーマとする本紙のご愛読をよろしく願っています。(よみたん編集部一同)

**よみたんの誕生 ~紙名とキャラの決定~**

読売新聞の読者に生活に役立つ「お得」をお届けしようと彩南お得情報という名で2010年8月に月刊情報紙としてスタートした本紙。ネーミングを読者より募集したところ、多数の応募の中から古川吉江さん(越谷市)の「彩南よみたん」に決定。このミニコミ紙がめざす、読んでお得情報を探す、いつも新聞を読んで探究、学びというコンセプトにぴったりの「彩南よみたん」が誕生しました。キャラクターも募集し、最優秀賞に埋恵さん(新座市)の作品が選ばれ、優秀作品の侍くんとともに今でも紙面で活躍中!さらに埋恵さんによる新キャラクターも本日より登場しているからチェック!!

**埼玉県立川の博物館 ~楽しみながら川を体感する博物館!~**

寄居町にある荒川の「カフセミ河原」近くにある大きな博物館「川の博物館」。本紙2015年8月号で紹介した県立自然の博物館と姉妹館のこの「かわはく」へよみたん片手に行き、親子で川を体感してみよう!

東京ドーム1個分余りの約4万7千平方メートルの広大な敷地に本館、ファミリー広場、大水車後ろのレストハウス、荒川わくわくランドのゾーンがあり、ファミリー広場には3大シンボルの2つ目「荒川大模型173」という巨大模型がある。これは、荒川本流に沿った地形を精密に1,000分の1スケールにした日本一の大きさを誇るも(2016年4月当時)の、荒川の長さが173キロメートルであるから、「173」と名付けられ、甲武信岳の東側斜面の標高2200メートルの原生林にある水源位置を黄色で記されていた。(よみたん2016年5月号より)

埼玉県立川の博物館「かわはく」の本館と「荒川大模型173」(2016年4月当時)

**新聞活用レポート 戸田市立美女人小学校 ~新聞はみんなの役に立つ~**

2011年6月18日、4年生合同(在籍81人)の国語の授業で読売新聞東京本社編集局NIE事務局(当時)・鹿野川喜代美講師による90分間の公開授業を行った=写真=。

「Newspaper In Education」(教育に新聞を)を紹介した上で、新聞で何だろう、新聞切り抜き、発表、新聞にはいろいろな人物が登場する、記事を書いてみようという課題が進められた。

鹿野川講師が、一部130円(読売朝刊)という値段の日報新聞は毎日、原稿用紙600枚分の20万文字の記事が書かれていることに触れると、「え〜」と児童から驚きの声があがった。

インターネットなどの媒体と異なる新聞の特徴として、多くの記事を一覧でき、過ぎ去っても何度も読み返せること、写真に迫力がある点を説明していた。(よみたん2011年7月号より)

**彩南よみたん創刊100号記念特集**

**教育長からのメッセージ**

新聞活用により家庭でのコミュニケーションを

2018年4月号では小松弥生埼玉県教育長からのメッセージを掲載。その概要は以下のとおり。

文章を読んだり書いたりする文章力を育む方法の一つに、新聞を活用した学習があると考えられ、新聞を活用することにより、日本語による様々な表現方法を学んだり、ニュースから多様な見方や考え方を吸収したりすることができる。様々な立場の人や、多くの考え方に触れる中で感じたことは、自己の成長の糧となる。

学校においては、複数の新聞について読み比べを行うことは、とても良い学び方の一つ。

家庭では、お子様の目に飛び込んでくる写真や気になった見出しなどを頼りに、楽しんで読める話題から始めてみてください。保護者の皆様にとっては、これまで気付かなかったお子様の成長の様子を感じられるかもしれない。また、お子様にとっては、保護者の方の考えを知る機会にもなり、家庭内でのコミュニケーションの機会ともなる。(よみたん2018年4月号より)

よみたんでは、毎年4月号に県教育長からのメッセージを掲載中!

**三郷市立北中学校 ~新聞を活用した独自の教育活動!~**

「5つの一番」を目指し特色ある学校づくりを進める三郷市立北中学校では、インターネットなどからの情報があふれる社会のなか、情報を収集する手段として新聞を読む生徒が少なく、非購読世帯は全体の約半数近くにのぼるといふ。そこで同校では、このような新聞離れを解消し、社会に溢れている情報を適切に選択するメディアリテラシー能力を育成して「確かな学力」を生徒に身につけてもらうこと、平成25年度からNIEを展開している。(よみたん2015年6月号より)

**埼玉県庁教育局の協力により家庭でできる学力向上シリーズ**

~読書は学力向上への入口!~

よみたんでは、2011年3月~2013年12月まで14回、子どもたちの学力向上シリーズを県庁の協力により掲載してきた。その一部を紹介。

読書はなぜ大切なのでしょうか。私たちが、物心が付く前から本の読み聞かせなどにより、たくさんの言葉を学んだり、想像力や豊かな感性、情操心をはぐくんでいきました。このように読書は、心を耕し、学びを豊かにしてくれます。

「1日の読書時間と国語の内容「書くこと」との相関関係」のグラフを御覧ください。読書時間が長くなると学習状況調査の正答率も高くなっています。これは、読書によって言葉が増えるだけでなく、子どもたちの知的活動を増進し、思考力、判断力、表現力等が高まるからです。まさに、「読書は学力向上への入口」と言えるでしょう。(よみたん2011年10月号より)

また、埼玉県家庭地域連携課とのシリーズ、「3つのめばえ」、「家庭で育む幼児の力」を2014年6月~2016年4月まで12回を連載。最近では、読者からの「育児に関する質問」へのアドバイスをを行うコーナーも掲載し、子育てや子育てに役立つ情報を取り上げている。(裏面につづく)

**創刊50号記念で新聞記者体験! ~親子で新聞づくりを学ぶ~**

彩南よみたん編集委員は2014年8月8日、創刊50号記念の企画として「みんなで楽しく記者体験」を読売新聞東京本社3階の新聞教室コーナーやニュースラボで開催した。ニュースラボとは、読売新聞の新社ビル3階にオープンした、よみたんヒストリーなどを展示した施設で、新聞の歴史からどのように印刷されているかなどを学ぶ場所だ。

この企画は、子どもたちの夏休みの自由研究に役立てればと今でも毎年行われ、今年も8月8日に「第5回彩南よみたん夏休み自由研究企画」を同会場で開催。読売新聞本社編集局の見学もあり、集まった親子は「貴重な体験だった」と喜んでいった。(よみたん2018年9月号にレポートを掲載)

ボクも参加したいな〜!

よみたん編集委員も模範取材をサポート(2014年8月8日)

**新聞活用により家庭でのコミュニケーションを**

2018年4月号では小松弥生埼玉県教育長からのメッセージを掲載。その概要は以下のとおり。

文章を読んだり書いたりする文章力を育む方法の一つに、新聞を活用した学習があると考えられ、新聞を活用することにより、日本語による様々な表現方法を学んだり、ニュースから多様な見方や考え方を吸収したりすることができる。様々な立場の人や、多くの考え方に触れる中で感じたことは、自己の成長の糧となる。

学校においては、複数の新聞について読み比べを行うことは、とても良い学び方の一つ。

家庭では、お子様の目に飛び込んでくる写真や気になった見出しなどを頼りに、楽しんで読める話題から始めてみてください。保護者の皆様にとっては、これまで気付かなかったお子様の成長の様子を感じられるかもしれない。また、お子様にとっては、保護者の方の考えを知る機会にもなり、家庭内でのコミュニケーションの機会ともなる。(よみたん2018年4月号より)

よみたんでは、毎年4月号に県教育長からのメッセージを掲載中!

**はいきい! 第93たん よみたん おしえて!**

画/みいぼん・作/KAZ

今日100号だよ!

えっ? ウチにはもっと大事な日だよ!

よみたん100号記念の日だよ!

何さ?!

100号記念日にニューキャラも登場するし、これからはおの編織も出てきてバトルの展開になるらしいよ...

編集部7人外に苦勞してるぞ...

※霜月:陰暦で11月のこと。この月になると霜が降り月一から転じた。「神無月(10月)を土上な月として下な月」とする説などもある。

100号記念イベントは裏面にあります!